

イーストスプリング・
アジア・インカム・プラス
【愛称:アジアンドリーム】

追加型投信／海外／資産複合

第107期(決算日 2016年3月15日)
第108期(決算日 2016年4月15日)
第109期(決算日 2016年5月16日)
第110期(決算日 2016年6月15日)
第111期(決算日 2016年7月15日)
第112期(決算日 2016年8月15日)

作成対象期間(2016年2月16日～2016年8月15日)

第112期末(2016年8月15日)	
基準価額	7,963円
純資産総額	217百万円
第107期～第112期 (2016年2月16日～2016年8月15日)	
騰落率	1.8%
分配金合計	90円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・インカム・プラス」は、2016年8月15日に決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジアの債券および株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記【お問い合わせ先】ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

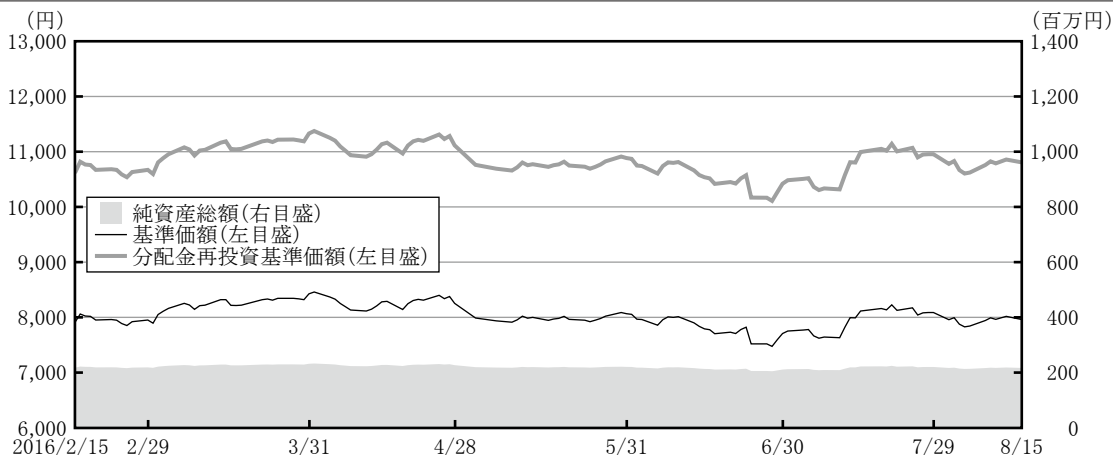
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第107期～第112期:2016年2月16日から2016年8月15日まで)



第107期首	7,911円
第112期末	7,963円 (既払分配金90円)
騰落率	1.8% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の前半は原油価格の回復を受けてアジアの株、債券ともに堅調な推移となり、基準価額は上昇しました。しかしその後、英国国民投票でのEU離脱派勝利など地政学的リスクの高まりを背景に株、債券は下落し、更にリスク回避の円高も加わって基準価額は下落しました。市場の混乱終息後は投資家心理の改善からリスク選好の動きとなりアジアの株、債券ともに反発し、当作成期首比では基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第107期～第112期 2016/2/16 ～2016/8/15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	53円	0.661%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,083円です。
(投信会社)	(22)	(0.269)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(30)	(0.376)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	11	0.131	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.077)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.017)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(3)	(0.032)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	(0)	(0.005)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	64	0.792	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2011/8/15	2012/8/15	2013/8/15	2014/8/15	2015/8/17	2016/8/15
基準価額 (円)	7,014	6,937	8,017	8,711	9,088	7,963
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.5	18.2	11.0	6.3	△10.4
純資産総額 (百万円)	940	728	492	339	264	217

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外債券市況

アジア債券市場は当作成期前半は世界的な金融緩和の環境下で堅調な推移(利回りは低下)となりました。2016年2月中旬以降は原油価格が回復傾向となり世界の株式市場が堅調となったことで投資家心理が好転し、また、米国の追加利上げ観測が後退したことを受けて投資家のリスク選好度が高まりました。特にインド、インドネシアなどの高利回り債券には資金流入が見られ堅調となりました。インドネシアではインフレ率の低下などを背景に2月、3月、6月にそれぞれ0.25%政策金利が引き下げられたほか、マレーシアは約7年半ぶりとなる7月に、インドでも4月に政策金利が引き下げられるなど、アジアでは金融緩和の動きがみられました。

○海外株式市況

当作成期中のアジア株式市場は、原油価格の動向、米国の利上げ時期、英国国民投票でのEU離脱派勝利などの影響を受けました。2016年2月中旬以降に原油価格が反発したことに加え、米国の利上げ時期が後ずれするとの観測から株価は堅調な展開となりました。4月に入ると主要国の金融政策や英国のEU離脱を問う国民投票の結果を見極めたいとの思惑から一旦調整する場面も見られました。6月末の国民投票ではEU離脱派が残留派を上回りましたが、アジア地域に対する影響は限定的であること、且つ米国の利上げは引き続き緩やかなペースになるとの見方により、株式市場は作成期末まで堅調な値動きが続きました。

○為替市況

アジア通貨は2016年2月以降の原油価格の回復や米国の追加利上げ観測の後退などから対米ドルでは概ね堅調となりました。中でも韓国ウォンは、経済指標の改善と良好な企業決算を受けて外国人投資家による株式市場への資金流入がみられ、最も堅調でした。一方、対円では円高の進行からすべてのアジア通貨が下落しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド(以下「アジアン・エクイティ」と言うことがあります。))を通じてアジア株式に3割程度の投資を行いました。

○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジアの政府、政府機関および国際機関の発行する現地通貨建債券に投資を行い、安定的な利子収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。当作成期は、インフレ率の低下から3度にわたり政策金利の引下げを行ったインドネシアの債券の保有が最もプラスに寄与した一方で、政情不安からパフォーマンスが振るわなかったマレーシアの債券の保有がマイナスに作用しました。

○アジアン・エクイティ

当作成期の投資行動としては、ポートフォリオの特性を大きく変更するような銘柄の入替えは行いませんでした。国・地域別のパフォーマンスでは、経済指標の改善や通貨人民元の安定化が見られた中国、資源価格の持直しや米国の利上げ懸念後退を好感した韓国、新政権発足や個別企業の業績期待から上昇した台湾などの株式の保有がプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2016年2月16日 ～2016年3月15日	2016年3月16日 ～2016年4月15日	2016年4月16日 ～2016年5月16日	2016年5月17日 ～2016年6月15日	2016年6月16日 ～2016年7月15日	2016年7月16日 ～2016年8月15日
当期分配金 (円)	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率) (%)	0.180	0.181	0.188	0.192	0.184	0.188
当期の収益 (円)	15	6	9	13	15	11
当期の収益以外 (円)	—	8	5	1	—	3
翌期繰越分配対象額 (円)	154	146	140	139	141	138

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

今後の運用方針につきましては、原則として基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「アジア・エクイティ」を通じてアジア株式に3割程度の投資を行っていく予定です。

○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

世界規模で緩和的な金融政策が維持される中で、今後しばらくはリスク選好姿勢が持続し、アジアの金利水準は低位で推移するとみています。インドは、物品・サービス税(GST)法案の可決が税徴収の効率化による財政赤字の削減に繋がると見込まれるなど債券市場にプラスになると期待されます。また、シンガポールと韓国は、債券、通貨ともに大幅に上昇しており、割高な水準にあるとみています。中国の景気先行き懸念や今後の欧州情勢などで市場の変動性は高まる可能性があり注意が必要であると考えています。一方、世界的に穏やかな経済成長と低インフレの環境下では債券市場におけるリスクは限定的であるとの見方から、市場の調整局面では割安な水準で債券を組み入れる好機と考えています。

○アジア・エクイティ

世界的に景気への不透明感は続いています。アジア域内においては良好な投資環境が継続するとみられています。資源価格が安定の兆しを見せていることに加え、英国のEU離脱がアジア地域に与える影響は軽微であるとの見方が優勢です。また米国の利上げ時期については不透明な状況が続いていますが、利上げのペースは引き続き緩やかになるとみえています。アジア各国はインフレ率が比較的低位に落ち着いており、金融緩和に動きやすい環境下にあるといえます。また足元のアジア株式市場は過去と比較して割安な水準にあるとみており、引き続き割安な銘柄を中心としたポートフォリオの構築を行って参ります。

お知らせ

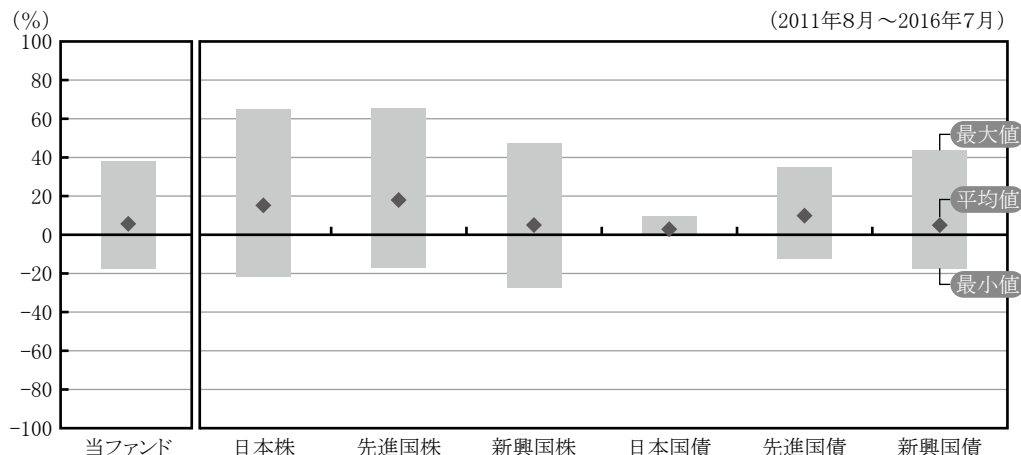
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	約10年間(2007年3月30日から2017年3月15日まで)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド」(米ドル建て)のクラスJ投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」の受益証券(振替受益権を含みませす。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎決算時(毎月15日(休業日の場合は翌営業日))に、主に配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、売買益等がある場合は、これを付加して分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.6	15.2	18.0	5.0	2.8	9.9	4.9
最大値	38.2	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-17.4	-22.0	-17.1	-27.5	0.4	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年8月から2016年7月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

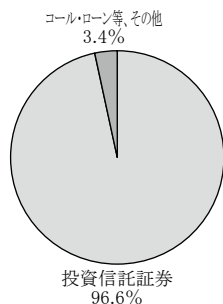
○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

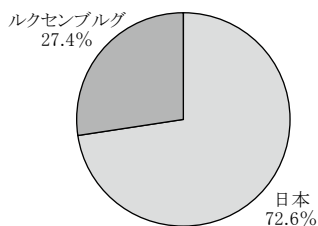
ファンド名	第112期末 2016年8月15日
イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)	69.2%
イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド	27.4%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

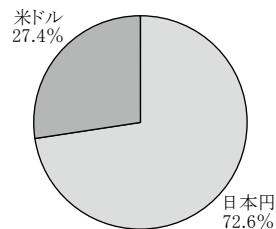
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第107期末 2016年3月15日	第108期末 2016年4月15日	第109期末 2016年5月16日	第110期末 2016年6月15日	第111期末 2016年7月15日	第112期末 2016年8月15日
純資産総額	229,250,121円	228,034,381円	218,714,460円	213,460,255円	222,408,482円	217,164,412円
受益権総口数	275,489,744口	275,072,810口	275,195,952口	273,872,429口	274,013,662口	272,708,400口
1万口当たり基準価額	8,322円	8,290円	7,948円	7,794円	8,117円	7,963円

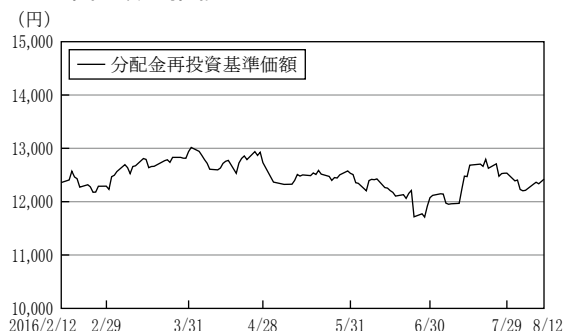
* 当作成期中(第107期～第112期)において追加設定元本額は795,575円、一部解約元本額は3,439,266円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

(計算期間 2016年2月13日～2016年8月12日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

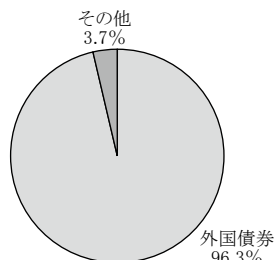
項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	12円 (11) (0) (1)
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1) (その他)	8 (5) (2) (2) (0)
合計	20

○組入上位10銘柄

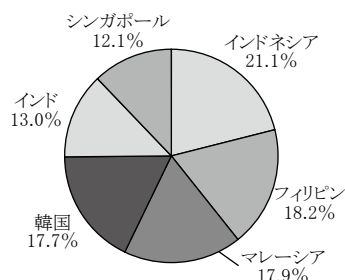
(組入銘柄数:71銘柄)

	銘柄名	種別	国・地域	比率
1	8.750% PHILIPPINE GOVT	国債	フィリピン	4.1%
2	8.070% INDIA GOVT	国債	インド	3.6%
3	4.125% PHILIPPINE GOVT	国債	フィリピン	2.9%
4	8.300% INDIA GOVT	国債	インド	2.8%
5	8.150% INDIA GOVT	国債	インド	2.4%
6	8.375% INDONESIA GOVT	国債	インドネシア	2.4%
7	5.000% KOREA TREASURY	国債	韓国	2.3%
8	4.250% KOREA TREASURY	国債	韓国	2.3%
9	5.750% KOREA TREASURY	国債	韓国	2.2%
10	12.800% INDONESIA GOVT	国債	インドネシア	2.1%

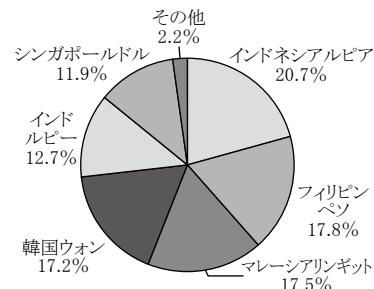
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 費用項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。「その他1」の項目については、キャピタルゲイン税を含みます。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2016年8月12日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は、組入ファンドが投資対象とするマザーファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド

(計算期間 2015年1月1日～2015年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



○1万口当たりの費用明細

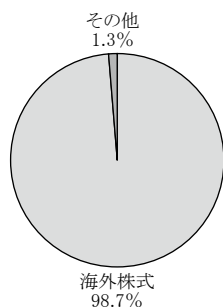
イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

○組入上位10銘柄

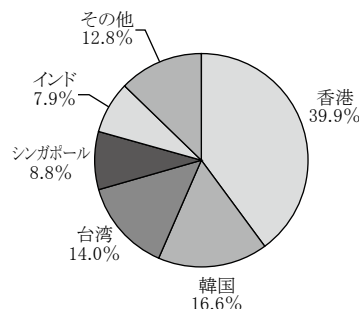
(組入銘柄数:65銘柄)

順位	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	Samsung Electronics Co Ltd	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国	6.2%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	半導体・半導体製造装置	台湾	5.8%
3	China Construction Bank	銀行	香港	4.2%
4	Tencent Holdings Ltd	ソフトウェア・サービス	香港	3.9%
5	China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	3.8%
6	Bank of China Ltd	銀行	香港	3.0%
7	HON HAI Precision Industry Co Ltd	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	台湾	2.9%
8	Hyundai Motor Co	自動車・自動車部品	韓国	2.8%
9	Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	2.3%
10	Wharf Holdings Ltd	不動産	香港	2.2%

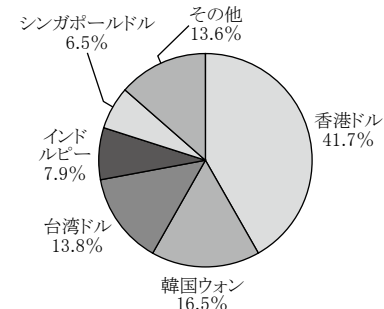
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- (注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。
 (注3) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は、株式が上場されている主要な金融商品取引所の所在国・地域を記載しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。